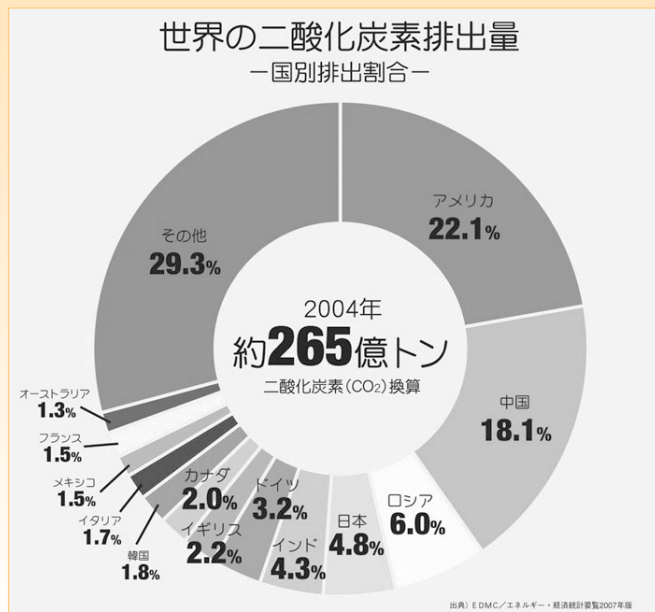


持続可能な社会づくりのために

環境省 環境カウンセラー 出口 省 吾



世界を100人の村に例えると
地球上のすべてのエネルギーのうち
20人（先進国の人たち）が80%を使い
80人（発展途上国の人たち）が20%を
分け合っています。（2001年当時）
これまで大量の二酸化炭素を排出してきた
先進国が原因で地球温暖化が進行したのに、
その影響を受けて困っているのはアジアや
アフリカなどの発展途上国の人たちだって…
アフリカでは気候変動で雨が降らなくなり、
作物がとれなくなっている所があります。
南太平洋のツバルという島国は海面上昇で
国土が水没してしまいそうです。

全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより

第4話 京都議定書

1997年12月の「気候変動枠組条約第3回締結国会京都会議（地球温暖化防止京都会議：COP3）」で、先進国が地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減を義務づける、温室効果ガス削減に関する「京都議定書」が採択されました。

「京都議定書」の大きな問題点は、数値目標を設定しているのが先進国のみであるということです。2004年実績で世界の二酸化炭素排出量の22.1%を占める米国はブッシュ政権のもとで国内の経済を優先するため離脱してしまいました。オーストラリアは参加していません。世界第2位で18.1%を占める中国は、開発途上国のため目標設定すらされていません。中国やインドは、今後も経済成長にともない二酸化炭素排出量が増加することは間違いありません。温暖化を防止するためには、世界各国が力を合わせる必要があります。特に先進国はこれまで温暖化を促進させた国として責任ある行動が求められています。

日本の温室効果ガス※排出量の目標数値は？（2008～2012年）

→1990年排出量の**6%減**（国内の森林吸収量3.9%含む）

しかし、現実には排出量は約**8%増**となっているため、
目標数値と現実の数値をたすと、実質的な数値は、約**14%**となります。

※地球温暖化の原因である温室効果ガスの**90%以上が二酸化炭素**です。二酸化炭素は石油などの化石燃料を燃やしたときなどに発生しています。

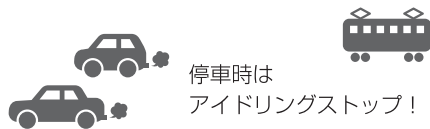
2005年度排出量の伸び

〈基準年(1990年)比較〉

産業部門…5.5%減→企業努力
運輸部門……………18.1%増
業務その他部門※1…44.6%増
家庭部門……………36.7%増
廃棄物部門※2…………61.6%増

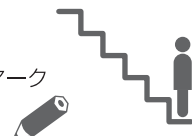
※1 オフィスや病院・学校などが含まれる
※2 ごみなど

運輸部門 電車やバスを利用しよう！



業務その他部門 なるべく階段を使おう！

事務用品・文具類は
エコマーク・グリーンマーク
商品を購入しましょう！



ちょっとした心がけ

家庭部門 ごみは出さない努力を！

省エネ性能が高い家電製品を選び
ましょう。

食料品は必要なものだけ購入しましょう！

水の無駄使いはダメ！



電気のスイッチは
こまめに消す！



廃棄物部門

スーパーの袋は使わず、
マイバッグを使おう！



スーパーのレジ袋や割り箸など、
使ったあとごみになる使い捨て製品は
控えましょう！



国、地方公共団体、事業者、国民がそれぞれの役割に応じて省エネに取り組み、地球温暖化をストップさせなくては
いけません。

問北勢庁舎 生活環境課 T 72-3946 F 72-3748